

適用規格						
定 格	使用温度範囲		-55℃ ～ 85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃（注2）	
	電 圧		AC 50 V	使用湿度範囲	相対湿度 95%以下（注3）	
	電 流		0.3 A	保存湿度範囲	40 % ～ 70 %（注2）	
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT AT	
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）で測定する。		60 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		100 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 57.6 N 以下 引抜力 2.4 N 以上	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		① 接触抵抗： 70 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 方向各 10 サイクル試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3方向各 3 回試験する。			○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗： 70 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 100 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→ 2～3 → 30→ 2～3 分 を 5 サイクル試験する。			○	—
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗： 70 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。			○	—
	塩水噴霧	濃度 5 % の塩水、48 時間放置する。		① 接触抵抗： 70 mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、 96 時間放置する。 （試験規格：JIS C 0090）			○	—
	はんだ耐熱性	リフローの場合：ピーク温度 MAX 250℃ 220℃以上 60秒以内		外観の変形及び端子などに著しいガタがないこと	○	—
		はんだごての場合：こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内			○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 240℃、浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだで濡れていること。	○	—
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
△						
備考				承認	HS. OKAWA	13. 08. 07
注1. 通電時の温度上昇を含みます。				検 図	HT. YAMAGUCHI	13. 08. 07
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。				担 当	TY. EDAGAWA	13. 08. 07
注3. 結露しないこと。				製 図	TY. EDAGAWA	13. 08. 07
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。						
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番	SLC4-151968-02	
HRS	製品規格表		製品名	FX10A-96P-SV1 (71)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL570-0141-4-71		
					△	1/1